



むなかた市議会だより

平成27年6月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/
050/080/index.html
●メール=gikai@city.munakata.fukuoka.jp

より深く予算審査を行うために

常任委員会による

事業評価を実施します!!

平成27年第2回宗像市議会定例会が、6月1日から30日までの期間で開催され、市長提案の議案9件、議員提案の意見書4件、発議4件について審議を行いました。
さらに、市が行う事業を最終的に決定する予算審査をより深く行うため、3常任委員会で、それぞれ所管する事業の中から選定したものについて調査・評価を行うことを決定。本定例会中の各常任委員会で、それぞれ対象事業を選定しました。本定例会終了後の7～8月に、選定した対象事業の調査とその事業の評価を行います。

予算審査に生かすために実施

市の事業は、予算の審査・議決という形で市議会が最終的に決定しています。そのために、市が実施する事業を議会が調査・評価し、その結果を今後の予算や事業に反映させなければなりません。現在、市の事業の調査として市議会が行っている主なものは、定例会での各議員による一般質問、9月定例会での前年度の決算審査、3月定例会での次年度の予算審査などがあります。今回の事業評価は、それらに加えて、市の事業調査のひとつとして行うものです。

事業評価ならではの意義

この事業評価は、事業の調査だけでなく、常任委員会でその事業の評価を行うことに特徴があります。そのため、市がこの評価結果を受けて、次年度の予算案に反映させることが期待できます。また、3月定例会での次年度の予算審査の際に、今回の事業評価を踏まえた審査を行うことができます。

事業評価の実施内容

昨年度、試行的に各常任委員会で、それぞれ所管する事業の中から2事

【事業評価の4つの評価項目】

評価項目	説明
公共性	行政が取り組むべき事業なのか。
必要性	事業に対するニーズはあるのか。
費用対効果	事業のために支出した費用に対して、期待したとおりの効果があったのか。
成果	この事業を実施して、税収増、歳出削減、住民満足度アップなど、具体的な成果が認められるか。

※上記の評価の結果、改善の必要がある事業については、その改善策を提案します。

業を選定して実施しました(昨年度の評価結果は、平成27年2月1日号に掲載)。今回は、それぞれの4事業を選定して実施します。
評価方法は、左記の4つの評価項目の観点から、市の担当部署との質疑などによる調査のうち、5段階(A…極めて良好・E…不適正)で行います。なお、事業評価の結果は、次回の議会だよりで、9月定例会の決算審査の記事と併せて掲載します。

意見書

2件の意見書を可決し、国に提出しました。

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図る事を求める意見書
【全員賛成で可決】

(要旨)
アスベストを大量に使用したことによるアスベスト(石綿)被害は多くの建設従事者、国民に広がっている。建設業は重層下請け構造や多くの現場に従事することから、労災に認定されることにも多くの困難が伴う。国は石綿被害者救済法を成立させたが、極めて不十分なものである。建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施と被害の拡大を根絶する対策を直ちに講じるよう強く求める。

認知症への取り組みの充実強化に関する意見書
【全員賛成で可決】

(要旨)
政府は本年1月、認知症対策を国家的課題として位置付け、認知症施策推進総合戦略を策定した。しかし、今後の認知症高齢者の増加等を考えれば、認知症への理解の一層の促進、当事者や家族の生活を支える体制の整備、予防・治療法の確

立など、総合的な取り組みが求められる。認知症の人を支える環境は、政策や制度に基づく総合的なサービスによって成り立つ部分が多い。よって、認知症への取り組みの充実強化を各関係機関に強く求める。



全員賛成で可決
11月1日より施行予定

屋外広告物条例を制定

屋外広告物法に基づいて必要な規制を行うことにより、市の良好な景観の形成、維持を図り、市民や事業者に対し、屋外広告物に関する市の施策に協力するように求めていきます。

制定の経緯

昨年度、景観法に基づく景観計画と景観条例を施行し、良好な景観形成の実現を推進してきました。屋外広告物も景観を構成する重要な要素であり、歴史的景観や自然景観に恵まれた島部や玄海地域などの景観重点区域では、屋外広告物をその景観特性に配慮した、規模・数量・色彩などへ誘導していく必要があります。現在の屋外広告物に関する規制は、福岡県屋外広告物条例に基づいて行われていますが、基準が県下一律で、市の実情に

主な質疑

Q 違反広告物などの管理体制と今後の体制は。
A 現在は、違反広告物などの撤去を年4回実施している。今後は、組織体制の強化や財源確保を検討しながら、違反広告物の指導を行っていく。

※屋外広告物条例の詳細については、今後改めて「むなかたタウンプレス」に掲載される本条例に関する記事をご参照ください。

平成27年6月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が、市の行政事務全般について、市の見解を問うものです。

平成27年6月2日、5日、11日、12日の4日間にわたって、17人の議員が合計32項目の質問を行いました。

○議員が質問を行った順に掲載しています。

○掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。

○質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは8月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



問 介護に関する市民ボランティアなどの人材確保、育成の具体的内容とその見通し、体制づくりのための期間は。
答 第6期介護保険事業計画期間中に、地域の実情に応じて住民などの多様な主体が参画、サービスを提供する介護予防・日常生活支援総合事業の実施を目指す。既存の各



高齢者の介護ボランティアポイント
制度の推進を公明党／岡本 陽子

問 地域住民間の助け合い事業やボランティア活動などをこの事業に移行していく予定。
答 介護ボランティアポイント制度の推進を考えているか。その効果、課題を明確にした上での方針か。
問 高齢者自身の健康増進などの効果はあるが、介護支援だけにポイントを付与することは是非など課題も多いため、引き続き研究していく。
その他の質問
スクールソーシャルワーカー（※1）活用事業について



問 今後まちづくりで特に力を入れたいことは。
答 赤間駅周辺の高次機能の集積。新たな工業流通業務地確保の検討。地



都市計画マスタープランに関して
宗像志政クラブ／花田 鷹人

問 今後の清掃工場整備の方向性は。
答 今後の清掃工場整備の延命化、他市への搬出処理、古賀工場での二元処理が検討されている。
その他の質問
空家特別措置法を受け、本市の状況について

域資源の活用と景観保全。交通体系の強化。立地適正化計画制度導入の検討。
問 農漁村地域でのまちづくりのポイントは。
答 集落の特色を生かしながら計画的な土地利用を推進し、地域を維持活性化する。
問 今後の清掃工場整備の方向性は。
答 今後の清掃工場整備の延命化、他市への搬出処理、古賀工場での二元処理が検討されている。



障害者差別解消法と共生社会
みらいの和み宗像／高原 由香

問 法的義務のある行政機関や努力義務である民間事業者への合理的配慮の取り組みが啓発および研修などは行われているか。
答 新たに制定する市職員の対応要領に沿った研修などを全庁的に実施する予定。商工会などに対し、普及啓発活動を行い理解を上げていきたい。
問 選挙について、精神や知的に障がいのある人へのソフト面の配慮は。
答 投票所で代理投票制度での対応を行っている。教育現場への法の趣旨周知と授業などにおけ

る合理的配慮は。
答 既に施設面の対応、特別支援教育支援員の配置や個に応じた教育事業を展開しており、今後は教職員への周知などに取り組む。
問 合理的配慮、つまり行き届いた配慮の好事例を収集し、共有しては。
答 今後の取り組みの中でこの方法と考える。



問 宗像国際環境100人会議において環境問題と宗像人の自然崇拜は同じ価値観であると感じた。会議の効果は。
答 経済効果やPR効果に加えて、通訳ボランティア体験など、教育やグローバル人材育成の面で大きな効果があった。
問 サニックスワールドラグビーユース交流大会における市民との交流は。
答 むなかたガイド（※4）の案内による赤馬館での着物の着付け体験や茶道体験などを行った。外国人旅行者を誘



世界の中の宗像の特性とは
宗像志政クラブ／吉田 剛

問 宗像国際環境100人会議において環境問題と宗像人の自然崇拜は同じ価値観であると感じた。会議の効果は。
答 経済効果やPR効果に加えて、通訳ボランティア体験など、教育やグローバル人材育成の面で大きな効果があった。
問 サニックスワールドラグビーユース交流大会における市民との交流は。
答 むなかたガイド（※4）の案内による赤馬館での着物の着付け体験や茶道体験などを行った。外国人旅行者を誘

致するインバウンド観光は、個人旅行の交流主体の観光に力を入れるべきでは。
答 個人旅行対応の推進をしながら、体験型観光の研究も進めていく。
問 子どもたちだけでなく、市民もグローバル市民を目指すべきでは。
答 その通りであり、そのような人材を活用して、発展するまちにした



問 市道の千間橋～東郷橋間は、道幅も狭く歩道もない。特に曲踏切の北側は狭く、重大事故の危険性がある。また本線は、高速道路から宗像大社への分かりやすい道路でもある。早急に拡張整備を求める。
答 交通量が増えることでさらなる渋滞が予想される。また整備に多大な費用が必要となることから、新たな整備は行わず平成25年度に完成した県道宗像篠栗線の尾園踏切高架橋を通るルートへ積極的に誘導する。



脳梗塞の前兆を見逃すな



問 脳梗塞は生活習慣病の一つで、死亡原因では第3位となっている。脳梗塞の前兆を市民に認識してもらうキャンペーンを行うことはどうか。
答 啓発事業などの中で市民の意識を高めるとともに、取り組みの一つとしてFAST（※3）なども検討したい。



市民協働の推進策
とびうおクラブ／安部 芳英



ガールスカウト

問 グローバル人材育成事業において、ガールスカウトやボーイスカウト、青年会議所などの国際団体との連携が協働の推進につながるのでは。
答 協働事業も含めコーディネート強化したい。
問 全庁的に整理する必要があるのでは。
答 策定の必要性やプロセスについて、今後の実施計画において再度確認をとっていく。

問 投票率向上への行動は。
答 学生と若年層への取り組みができないか検討を始めている。

問 道の駅の成果と課題、解決策は。
答 26年度の来場者173万人、売上20億7千万円の実績あり。課題は駐車場や多機能施設の整備と出品者の不足。中長期計画の策定やJAとの懇談で解決を図る。

問 駐車場対策や渋滞緩和の方策とその効果は。
答 交通誘導員を導入し、左折専用レーンを設置するなど混雑解消への対策を行った。
問 新規漁業（カキ・アサリ）への支援の方向性は。
答 宗像の教育について。旧玄海小多目的グラウンドについて。

問 安価な魚を加工することで付加価値をつけることについて。
答 加工品の開発、販売、それを活用した誘客の仕組みの構築が考えられる。
その他の質問
宗像の教育について。旧玄海小多目的グラウンドについて。

問 算がとれる見込みが立てば、積極的に支援したい。六次産業化にはどのような方向性があるのか。
問 学校図書館の開放として小学校図書館に母と乳幼児向けの図書コーナーを設けられないか。
答 地域開放が容易な学校と難しい学校があり、後者については、他の学校施設の開放の問題も含めて検討する。



市北部(玄海)地区の活性化を
とびうおクラブ／北崎 正則

問 「調べる学習」コンクール」に親子で参加できる部門を設けられないか。
答 審査委員会での協議が必要だが、家庭での調べ学習では保護者の支援も大切なので前向きに検討していく。

問 学校図書館の開放として小学校図書館に母と乳幼児向けの図書コーナーを設けられないか。
答 地域開放が容易な学校と難しい学校があり、後者については、他の学校施設の開放の問題も含めて検討する。



読書活動の推進について
宗像志政クラブ／伊達 正信

問 図書館のレファレンスサービス（※2）を利

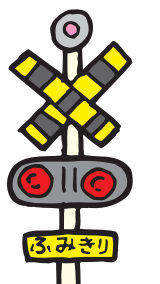
問 市道の千間橋～東郷橋間は、道幅も狭く歩道もない。特に曲踏切の北側は狭く、重大事故の危険性がある。また本線は、高速道路から宗像大社への分かりやすい道路でもある。早急に拡張整備を求める。
答 交通量が増えることでさらなる渋滞が予想される。また整備に多大な費用が必要となることから、新たな整備は行わず平成25年度に完成した県道宗像篠栗線の尾園踏切高架橋を通るルートへ積極的に誘導する。



問 市道の千間橋～東郷橋間は、道幅も狭く歩道もない。特に曲踏切の北側は狭く、重大事故の危険性がある。また本線は、高速道路から宗像大社への分かりやすい道路でもある。早急に拡張整備を求める。
答 交通量が増えることでさらなる渋滞が予想される。また整備に多大な費用が必要となることから、新たな整備は行わず平成25年度に完成した県道宗像篠栗線の尾園踏切高架橋を通るルートへ積極的に誘導する。



JR曲踏切の南北道路の拡張を
日本共産党／植木 隆信



問 脳梗塞は生活習慣病の一つで、死亡原因では第3位となっている。脳梗塞の前兆を市民に認識してもらうキャンペーンを行うことはどうか。
答 啓発事業などの中で市民の意識を高めるとともに、取り組みの一つとしてFAST（※3）なども検討したい。

問 市道の千間橋～東郷橋間は、道幅も狭く歩道もない。特に曲踏切の北側は狭く、重大事故の危険性がある。また本線は、高速道路から宗像大社への分かりやすい道路でもある。早急に拡張整備を求める。
答 交通量が増えることでさらなる渋滞が予想される。また整備に多大な費用が必要となることから、新たな整備は行わず平成25年度に完成した県道宗像篠栗線の尾園踏切高架橋を通るルートへ積極的に誘導する。



新総合体育館の建設は見直しを
公明党／石松 和敏

問 国の制度改正により交付金約20億円が財源として活用できなくなった。白紙も含め規模の縮小など大幅な計画の見直しが必要では。

答 現在策定中の基本構想・基本計画と事業費の抑制効果や民間資金の調達可否に関する調査結果、また議会の特別委員会、市民の意見などを総合的に判断し決定したい。

問 約40%の財源不足に對して、どのように補てんする考えなのか。

答 現在P F I I（※5）の活用などを検討して



建設予定地のユリックス多目的広場



総合戦略実現の方法について
とびうおクラブ／森田 卓也

問 地域包括ケアシステム構築を、モデル地区を指定して試行してはどうか。

答 事業の内容や体制等の整備ができたところから順次、地域の実情に合った地域包括ケアシステムの構築を行う。

問 「未婚者交流大学」をモデル地区の里において試行してはどうか。

答 都市再生プロジェクト専門会議が提案する再生事業の延長線上にあると思う。今後、財源の確保を図るとともに、ニーズや費用対効果を見きわめながら、実施に向けた検討を行っていく。



空き家の再利用で地域活性化を
宗像志政クラブ／神谷 建一

問 山間地域や離島など今後人口流出が進むと、コミュニティの崩壊につながる。その対応は。

答 地域の魅力を高め、若者の流出防止を図り、地域内での仕事の創出も考える必要がある。



問 国の定める地域おこし協力隊制度などを利用し、空き家の有効活用を行い、地域活性化につなげてはどうか。

答 工事期間、建設費、用地費の問題もあり、方針決定については、今後慎重に作業を進めていく。

城山中学校の改築に向けて



問 城山中学校の改築に伴い、検討委員会から「別敷地が望ましい」との提言が出されたが、市の方針は。

答 工事期間、建設費、用地費の問題もあり、方針決定については、今後慎重に作業を進めていく。



地域の防災力を高めるために
ふくおか市民政治ネットワーク／杉下 啓憲

問 自主防災組織結成後の課題と行政からの働きかけは。

答 活発な活動が行われておらず、災害発生時に不安がある。今後、他地区の訓練の紹介、新任役員への働きかけ、防災士の育成などを考えている。



問 避難行動要支援者名簿の課題と対策は。

答 実効性、自治会内での共有、引き継ぎが課題。民生委員と自主防災組織との連携や情報共有を行う。訪問活動により名簿を



UR団地にまちかど保健室設置を
日本共産党／末吉 孝

問 地域ケアシステムの構築でURとの連携は。

答 健康福祉の観点からも検討していきたい。

問 UR、大学と連携して、まちかど保健室を設置してはどうか。

答 UR団地については、まずは入居率の向上を図りたい。まちかど保健室については、日赤看護大学との連携も視野に入れながら検討していきたい。



J R東郷駅日の里口の店舗跡の有効活用を

問 地元コミュニティからの店舗跡を有効活用する要望があるがどうか。

答 現在、庁内で協議を行っている段階である。駅前のにぎわいにつながるよう考えていきたい。

問 市がJRから借り受けることができないか。そして市長自らJRと交渉ができないか。

答 市が借り受けることは難しいが、有効活用については、自ら出向いてJRのほうに働きかけていきたい。



宗像の未来を築く商工農漁連携
宗像志政クラブ／井上 正文

問 農業振興のため小規模農家へ農機具レンタルなど市独自の支援を。

答 道の駅などと協議中。今年度から実施予定。新規就農者の初期投資にかかる費用を支援しては。

問 費用の支援は難しいが、無利子の貸付金制度などの案内をしていく。

問 土と水の環境保全のため飲食店の魚介ごみで作るぼかし肥料を推進しては。

答 関係者と価格や販路についての問題を協議しながら支援を行いたい。漁場の磯焼け対策、

問 世界遺産登録の真価とこれから

答 宗像市にとつての真価と市民生活への影響は、市民の誇りや自信につながる。一方、資産保護のため、対象地域の利用・開発の制限や来訪者対策に取り組み必要がある。



持続可能な宗像市の農業であれ
宗像志政クラブ／小島 輝枝

問 高齢化、後継者不足など農業を取り巻く環境は厳しい。就農者の6割を占める女性の活躍なくして明日の農業はない。

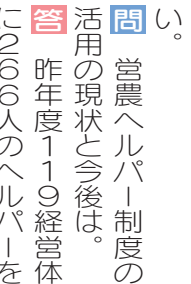
問 女性農業者の現状を把握し、課題と支援のあり方を整理すべきでは。

答 意見交換の場を設けては。

問 既存計画の検証がほぼ終了。今後、課題の抽出と意見聴取をし、年度内に素案ができる予定。JAと計画を整合させ、28年10月に完成予定。

問 営農ヘルパー制度の活用現状と今後は。

答 昨年度119経営体に266人のヘルパーを



新大型体育館建設の進捗は
市民連合／福田 昭彦

問 市内の現存する3体育館を廃止し、その代替施設である総合スポーツセンターを新たに建設する計画が進んでいる。現在の施設の約2倍にもなる大規模な施設の建設には建物の建設費だけを少なく見積もっても、約50億円とされている。その建設費の財源確保のため600万円の調査費が3

答 今回の調査は、総合スポーツセンター整備に係る整備手法の一つとして、P F I I（※5）などの民間手法の導入が可能かどうか調査するもので、整備に関する基本構想・基本計画案が確定された後に予定しており、

問 施設改修は計画的に行うべきがどうか。

答 施設改修については、実態調査を十分に行い、優先順位をつけて計画的に整備を行う。



●●● 賛否が分かれた議案名と議決結果 ●●●

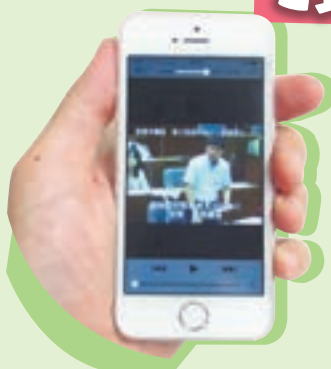
6月定例会で審議した議案のうち、賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

○：賛成した人 ◆：反対した人

議 案 名	議員氏名 議決結果	井上正文	吉田剛	森田卓也	高原由香	安部芳英	岡本陽子	北崎正則	伊達正信	杉下啓恵	神谷建一	花田鷹人	福田昭彦	小島輝枝	新留久味子	石松和敏	小田英俊	植木隆信	末吉孝
平成27年度宗像市一般会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	◆
集団的自衛権の行使を可能にする「安全保障関連法案」の制定を行わないよう求める意見書の提出について	否決	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	○	○
環太平洋パートナーシップ（TPP）協定に関する意見書の提出について	否決	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	◆	○	◆	◆	◆	◆	○	○	◆	○	○

※吉田益美議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

市議会をスマートフォンやタブレットでも
ご覧いただけるようになりました。



市議会のホームページから、市議会の本会議・委員会の生中継および録画中継をご覧いただけます。
また、平成27年6月定例会から、スマートフォンやタブレットでも同様にご覧いただけます。



①市ホームページのトップページの「市議会」のバナーをクリック



②市議会ホームページの「議会映像」のバナーをクリック

政務活動費収支報告

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に必要な経費の一部として、地方自治法および市の条例に基づき、議員に交付されるものです。地方議会の活性化のためには、審議能力の強化が必要であり、議員の調査活動基盤の充実を図るため制度化されています。

収支報告書・領収書を公開

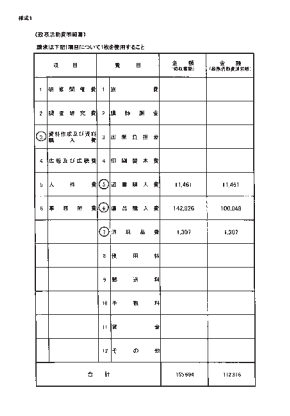
議員から提出された収支報告書・領収書は、市議会のホームページで公開しています。
【宗像市公式ホームページ】市議会→政務活動費→年度交付分→議員名をクリック
また、議会事務局で申請をすれば、写しを閲覧することができます。

本市の場合、議員個人に月額2万2千円（年額26万4千円）を上限に交付。対象となる経費は下表のとおり。

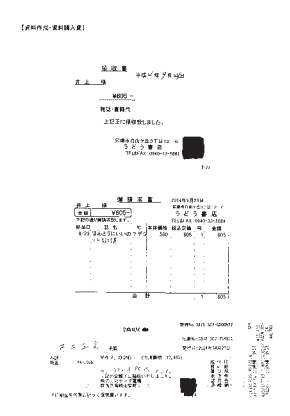
平成26年度は、議会全体で総額約468万円が使用されました。

政務活動費の対象となる経費	
項目	内容
研修開催費	・研究会や研修会を開催する経費
調査研究費	・先進地調査や現地調査の経費 ・他の団体が開催する研究会や研修会に参加する経費
資料作成及び資料購入費	・資料の作成や図書の購入に要する経費
広報及び広聴費	・調査研究活動、議会活動や市の政策について、住民に報告・PRするために要する経費 ・要望や意見を聴取するための会議などを行う経費
人件費	・調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	・調査研究活動のために必要な事務所の設置や管理に要する経費

公開している報告書の例



公開している領収書の例



9月定例会の日程

日程	内容
8/31 月	本会議（議案上程、提案理由の説明）
9/1 火	本会議（一般質問）
2 水	本会議（一般質問）
3 木	本会議（一般質問、大綱質疑）
4 金	本会議予備日
7 月	総務常任委員会
8 火	社会常任委員会
9 水	建設産業常任委員会
11 金	予算決算第1特別委員会
14 月	予算決算第1特別委員会
15 火	予算決算第2特別委員会
16 水	予算決算第2特別委員会
17 木	委員会予備日
29 火	本会議（委員会報告、質疑・討論、採決）

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
▼請願・陳情の提出締切日は8月24日（月）です。

▼予算決算第1特別委員会は一般会計を、予算決算第2特別委員会は特別会計と企業会計を審査します。

▼本会議と委員会は、市内の公共施設やホームページで中継しています。スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。

9月定例会の見どころ

▼予算決算特別委員会

26年度の決算や27年度の補正予算案について審査します。

市議会に関する問い合わせは
議会事務局 Tel 0940(36)1119

市議会のくわしい情報はホームページをご覧ください。

宗像市議会 検索

編集後記

昨年12月議会より3誌目の編集にあたり、「伝言筒」ことの難しさと、その大切さをあらためて実感しています。伝えるということが「相手」がいること。つまり、相手の立場に立つて考えることが必要です。当たり前のようで、できていないことを意識して、市民の皆さんが読みたくなる誌面づくりを心掛けていきたいと思っています。（高原由香）